

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 全国学力学習状況調査において、本校児童の平均正答率は、大阪市をおよそ15ポイント下回っている。また、小学校学力経年調査の正答率が市平均の7割に満たない児童の割合は30～40%であり、下位層が多い。これまで、児童の表現する力がつくよう意識して授業を工夫し、よくわかる授業を目指してICTを活用してきた。また、児童が主体的に学ぶことができるように、外部講師を招聘して授業づくりの研修も進めてきた。しかし、大阪市平均との差はまだ大きい。
- 愛着障がいと思われる児童、虐待等が疑われる児童が少なくない。ささいなことから気持ちの折り合いがつけられず、教室を飛び出したり他の児童とトラブルになったりしている。そのため教職員が児童に寄り添って指導を行っている。
- 不登校児童が多いことも課題である。担任が丁寧に家庭へ連絡している。解消に向け関係機関と連携しているが、改善しない現状がある。また、学校の授業以外に全く勉強をしていない児童の割合が高く、約27%に達しており、それは全国平均の5倍である。
- 教職員全体で児童にかかわり、児童が頑張っていることやできていることを褒めている。また、一人一人が活躍できる場を設定している。その結果、小学校学力経年調査の「自分には、よいところがあると思いますか」の質問項目で、肯定的回答の割合が高まってきている。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和11年度の全国学力学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。

○令和11年度の全国学力学習状況調査の「人の役に立つ人間になりたいですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 88%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和11年度の全国学力学習状況調査における平均正答率の対全国比を 算数1.00・国語1.00にする。

○令和11年度の全国体力運動能力調査の 体力合計点の対全国比を1.00にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和11年度の小学校学力経年調査アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するための情報を収集、整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか。」の質問に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80.0%にする。

○令和11年度末において、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を 20時間以下にする。

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 73%以上にする。

R7 72.8

○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか。」の肯定的回答児童を 74%以上にする

R7 73.6

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

平均正答率 対市比

R6 6年77.3 5年80.0 4年81.8 3年71.0

R7 6年79.5 5年81.2 4年74.5 3年 82.2

○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。

R7 64.9

【学びを支える教育環境の充実】

ICTの活用に関する目標

○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。

教職員の働き方改革に関する目標

○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を 22時間以下にする。

R7 22時間35分

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立長吉東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。 ○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【 基本的な方向①、安全・安心な教育環境の実現 】 学年の実態に合わせた、自尊感情を高める取組を行う。()	
指標 児童ががんばっていることやできていることなどを認め合う場、一人一人が活躍できる場を設定する。	
取組内容②【 基本的な方向②、豊かな心の育成 】 違いを認め合う集団の育成を行う。()	
指標 車いす体験・盲導犬体験・アイマスク体験・発達障がいについての学習など、障がいについて学ぶ体験活動を全学年で実施する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

後期への改善点

(様式2)

大阪市立長吉東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>児童の読み取る力を高める授業を創造する。()</p> <hr/> <p>指標 児童の読み取る力がつくように意識して授業を創造し、年間1人1回以上研究授業を行う。</p>	
<p>取組内容② 【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <p>運動に親しみ、体力をつける。()</p> <hr/> <p>指標 学習カードや体育器具などを効果的に使って、体育の授業を工夫する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

後期への改善点

大阪市立長吉東小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>【ICTの活用に関する目標】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 50%以上にする。</p> <p>【教職員の働き方改革に関する目標】</p> <p>○教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を 22 時間以下にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 6、教育 DX の推進】</p> <p>児童の学習者用端末の活用を推進する。 ()</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修を年 3 回以上行い、教員の ICT 活用能力を向上する。 ・情報活用能力を育成するため、週に 3 回以上、学習者用端末を活用する。 	
<p>取組内容② 【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>働き方改革を推進することで、人間性や想像力を高め、児童に対して効果的な教育活動を行うことができるようにする。 ()</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の教員一人当たりの「一か月平均時間外勤務時間(累計)」が大阪市の校種別平均と比較して下回るようにする。12月末時点で大阪市平均より少なくなるようにする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	

令和8年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 長吉東小 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

安全・安心な教育の推進
未来を切り拓く学力・体力の向上
学びを支える教育環境の充実

3 今後の学校園の運営についての意見

--